

全地連(全国地質調査業協会連合会)「技術フォーラム2000」神戸 (2000年9月21-22日)

神戸国際会議場で開催された全地連「技術フォーラム2000」神戸に参加しました。この「技術フォーラム」は社団法人全国地質調査業協会連合会が主催する現場の地質技術者の技術交流講演会で、今年で11回目を迎えています。技術講演に関しては、今回は130件を超える発表が行われ、そのほか特別講演2件、オープン講演会として6件の講演や討論会の企画が用意されていました。地質調査所からは今回初めて参加し、「地質図に用いる用語、記号、及び凡例等の表示に関する基準(案)」のポスター展示及び「地質調査所作成の最近の地

質図」と題して数値地質図のデモンストレーションを行うとともに、前者、「地質図に用いる用語、記号、及び凡例等の表示に関する基準(案)」につきましてはオープン講演会で説明する機会がありました。

一般的な分野の技術開発関連の展示会と異なり、現場の地質屋さんの集まりでしたので、講演の合間や昼休み時間などに沢山の方々が、地質調査所の展示ブースを覗いて下さいました。用意した「地質図に用いる用語、記号、及び凡例等の表示に関する基準(案)」75セットはあっという間に無くなり、主催事務局の方に沢山の増し刷りをお願いすることになってしまいました。また、数値地質図(CD-ROM版)のデモンストレーションでは、実際にコンピュータ上でどのような使い方ができるのかを見ていただき、特に20万分の1地質図幅92葉を収録した図幅集と、完成したばかりの「日本の新生代火山岩の分布と産状」は好評でした。

(産学官連携推進センター 湯浅真人)



写真1 「技術フォーラム2000」神戸の会場となった神戸国際会議場。

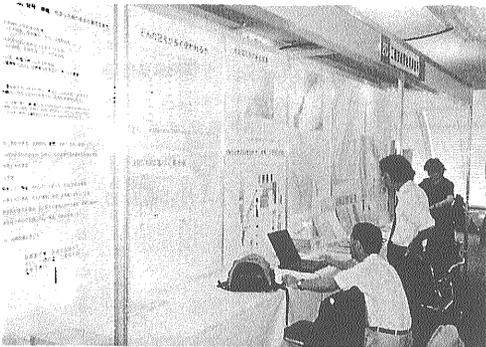


写真2 地質調査所の展示風景。



写真3 地質調査所の展示ブースに集まる人々。

キーワード：全地連, 技術フォーラム2000